

[K6] 海外大学や地域との連携による課題研究テーマに関する意見交換・研究発表

K6節では、海外フィールドワークのオーストラリアコースを報告する。オーストラリアコースは、2日間の大学生との交流と2泊の現地家庭へのホームステイを行い、大学生や地域との交流を重視した。

- 1 目的
  - (1) 現地大学と連携したフィールドワーク、講演、文化交流、現地高校と連携したアカデミックワークショップ、文化交流、現地企業と連携したフィールドワーク等により、生徒の課題研究の進展及び国際意識を身につける。
  - (2) 将来、国際的に働いたり、グローバルビジネスの起業を考えたりする際に不可欠な人的ネットワーク構築術を身につける。
- 2 日程 平成30年(2018) 8月14日(火)～21日(火)
- 3 方面 オーストラリアニューサウスウェールズ州シドニー周辺及びタスマニア州ホバート
- 4 参加者 2年生7名 引率2名 添乗員1名
- 5 選定理由
  - 【オーストラリアを選定する理由】
    - (1) 交流の優位性  
時差がほとんどなくテレビ会議システムでの交流に支障がないこと、歴史的経緯から親日的な国民性であること、在留邦人が多く交流の手助けとなることなどにより、生徒間交流に適している。
    - (2) 地域的な利点  
日本とオーストラリアの自然環境は大きく異なり、人々の生活や文化にも異なる点が多い。そのような違いを生徒が認識することは、多様性を受け入れる際の大きなきっかけになると考える。
  - 【タスマニア大学を受入先とする高大連携の理由】
    - (1) 生物資源的価値  
「タスマニア原生地域」として世界遺産条約の複合遺産に登録、国立自然公園もあり、多くの生物固有種に恵まれる。また日本とほぼ同緯度に位置するため、地形、気候、生物などに類似性があり、日本と自然環境を比較検討するのに利点があるため。
    - (2) 地政学的意義  
日本との時差がなく、事前事後に実施する生徒同士のテレビ会議等によるコミュニケーションがとれる。また外務省海外安全情報による危険情報発令がなく、テロ活動等の危険性が相対的に低い。さらに、ヨーロッパやアジアからの移民を受け入れてきた多民族国家のためグローバルの縮図を体験できる。経済面では、日本と同

じ先進国であり成熟市場のため、日本のビジネスモデルを考える際に比較検証に好都合なため。

### (3) 筑波大学との連携

タスマニア大学と連携している筑波大学生命環境系の紹介であり、長期にわたる交流継続が可能である。また、タスマニア大学の教授との交流プログラムを平成28年10月4日に本校で実施した実績もあり、先方も本校に関心を寄せているため。

## 6 行程の詳細、生徒感想、写真

日次	月日曜	発着地/滞在地名	発着現地時間	交通機関名	摘要	食事
1	8月14日 (火)	羽田空港<集合> 羽田空港発	19:30 22:00	航空機 (QF026)	羽田空港国際線ターミナル集合 出国手続後、 カンタス航空にて空路、オーストラリアへ (機中泊)	機内食
2	8月15日 (水)	シドニー着 シドニー市内 シドニー発 ホバート着	8:30 18:55 20:55	専用車 航空機 (QF1585) 専用車	到着後、入国・通関後、 シドニー市内見学後(企業dog Pty Ltdに 14:00アポイント訪問) 空路、ホバートへ 到着後、 以下、宿泊先へ移動 (トラベロッジ・ホバート泊)	機内食 昼: レストラン 夕: 各自
3	8月16日 (木)	ホバート市近郊	8:30頃 18:00頃	公共交通	午前: タスマニア大学で講演、ワークショップ 午後: 市内フィールドワーク (トラベロッジ・ホバート泊)	朝: ホテル 昼: 各自 夕: レストラン
4	8月17日 (金)	宿泊先発着 U T A S 宿泊先着	8:30頃 9:00頃 17:00頃	公共交通	午前: タスマニア大学にて成果発表 午後: 研究室訪問 (トラベロッジ・ホバート泊)	朝: ホテル 昼: 各自 夕: 各自
5	8月18日 (土)	宿泊先発 ホバート空港着 ホバート空港発 シドニー着 ミーティング着	8:00頃 9:00頃 11:30頃 12:45 14:35 16:30	専用車 航空機 (QF1584) 専用車	午前: ホバート・ワイルドライフ見学(10:30頃まで) ホバート空港へ移動 空路、シドニーへ 到着後、ホームステイ先まで移動 (ホームステイ泊) ※先生、TCはホテル泊	朝: ホテル 昼: 空港にて各自 夕: ホームステイ
6	8月19日 (日)	ホームステイ			ホストファミリーと過ごす (シドニー市内・近郊) (ホームステイ泊) ※先生、TCはホテル泊	朝: ホームステイ 昼: ホームステイ 夕: ホームステイ

7	8月20日 (月)	ミーティングポイント発 現地交流校着 現地学校発  シドニー空港集合 シドニー発	8:00頃 9:00頃 15:00頃  17:00頃 20:50	専用車  航空機 (QF025)	ミーティングポイント集合 その後、高校訪問(学校間交流プログラム)  学校交流後、空港へ 出国手続後、 カンタス航空にて空路、帰国の途へ  (機中泊)	朝：ホームステイ  昼：できれば学校で取りたい  機内食
8	8月21日 (火)	羽田空港着	5:15		到着通関後、解散。お疲れ様でした。	

【ホテル】ホバート(全員)      トラベロッジ・ホバート  
シドニー(教員, TC) キャピタルスクエア

【1日目】8/14      羽田 19:30 集合



羽田空港で出発式



出国前に集合写真

【2日目】8/15 ・企業訪問(doq) ・ホバート 21:00 着

Bondi Beach やミセスマッコリーズチェアなどの市内観光, Rocks でのランチ後, ダーリングハーバーの棧橋にオフィスがあるコンサルティング会社 doq を訪問(訪問にあたっては, 株式会社 TNC の小祝誉士夫様からご紹介をいただいた)。対応には作野様と阿部様(茨城県出身)にあたっていただいた。初めに, 各グループのビジネスアイデアを日本語でプレゼンし, 作野様からコメントをいただく流れで計5グループ行った。作野様のコメントは, ビジネスの最前線で活躍しておられる方らしい的確なもので, 今後生徒が課題研究を深める上でおおいに参考になるものであった。予定の1時間が1時間半になってしまったが, 生徒のプレゼン後, 作野様と阿部様から doq のビジネスについての説明をしていただいた。2時間余りの企業訪問であったが, 非常に中身の濃い充実した時間となった。その後, オペラハウスを見学し, シドニー空港から国内線でホバートに向かった。

【生徒感想】

- ・市内研修では, オーストラリア固有の文化よりも多国籍の文化がほどよく混じり合う感じが, 多国籍文化を強く感じさせてくれました。
- ・企業訪問では, 実際にビジネスを生み出している人たちからとても参考になるフィードバックをもらうことができ, 有意義な時間になった。ターゲットや現状については, 今日もらったアドバイスをもと



に 17 日のプレゼンではもう少し情報を加えていきたい。

- doq さんでは自分たちでは全く気がつかなかった点を指摘してもらった。特にこれから考えていかななくてはならないのはマーケットサイズの決定です。これは見落としがちで、けれど大切な 1 点です。



doq が立地するダーリングハーバーの棧橋



作野様と阿部様によるビジネスモデルの説明



ミセスマッコリーズチェアにて



シドニーのシティをバックに記念撮影



最後に記念写真



doq でのプレゼン